



軍 從

滿洲事變

關東軍記念寫真帖

卷 頭 の 辞

滿蒙は我が大和民族が義に仗りて擁護し東洋平和の爲め孜孜として經營せる所なり然るに所在の軍權は我が恩を忘れ却て驕慢を事とし排日侮日の言動其極に達せるも隱忍せしここ幾年を

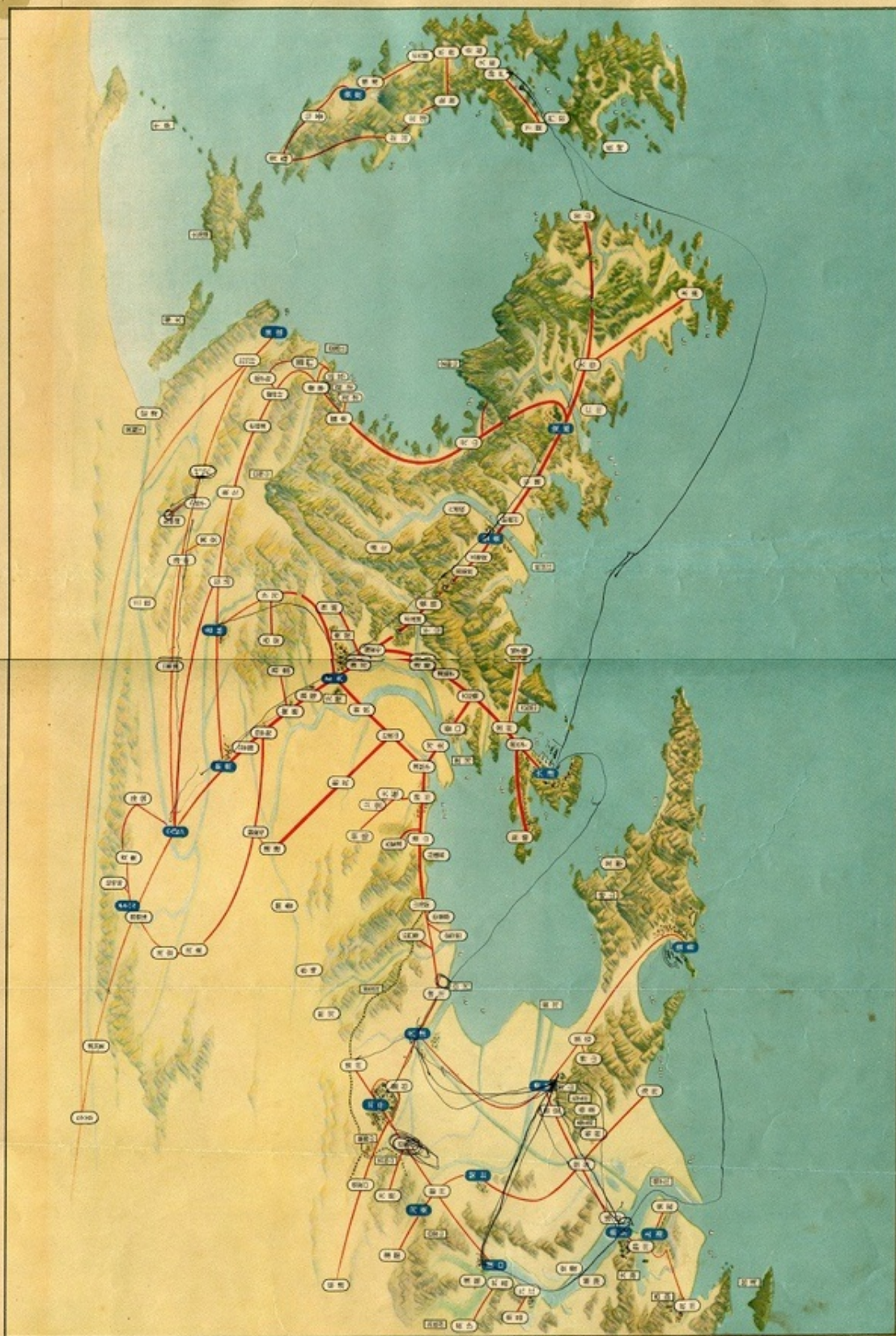
昭和六年九月十八日夜柳條湖に於ける暴舉は天人俱に許さざる所忠勇なる皇軍は敢然破邪の劍を執りて立てり爾來匪賊の掃蕩に民心の綏撫に恩威併施して皇軍の精華を發揮し我が生命線を擁護して國光を殊域に顯揚せり是即ち

御稜威の然らしむる所なりと雖も全國民の熱誠なる後援に負ふもの亦大なりと謂ふべく九千萬同胞の一致報效を念させるは最も感激に堪へざるなり此意氣を以て吾等大和民族は正義に立脚し東洋久遠の平和の爲め天業を恢弘せんのみ

本寫眞帖は主として昭和七年八月より八年九月十八日に至る間即ち事變第二年の狀況を蒐録したるものにして恤兵金の一部を以て之を調製し忠死の英靈に供へて之を慰め聖戰の記念として之を頒ち出動將兵の偉勳を千古に傳へ其追憶に資すと云爾

昭和九年三月

陸 軍 恤 兵 部

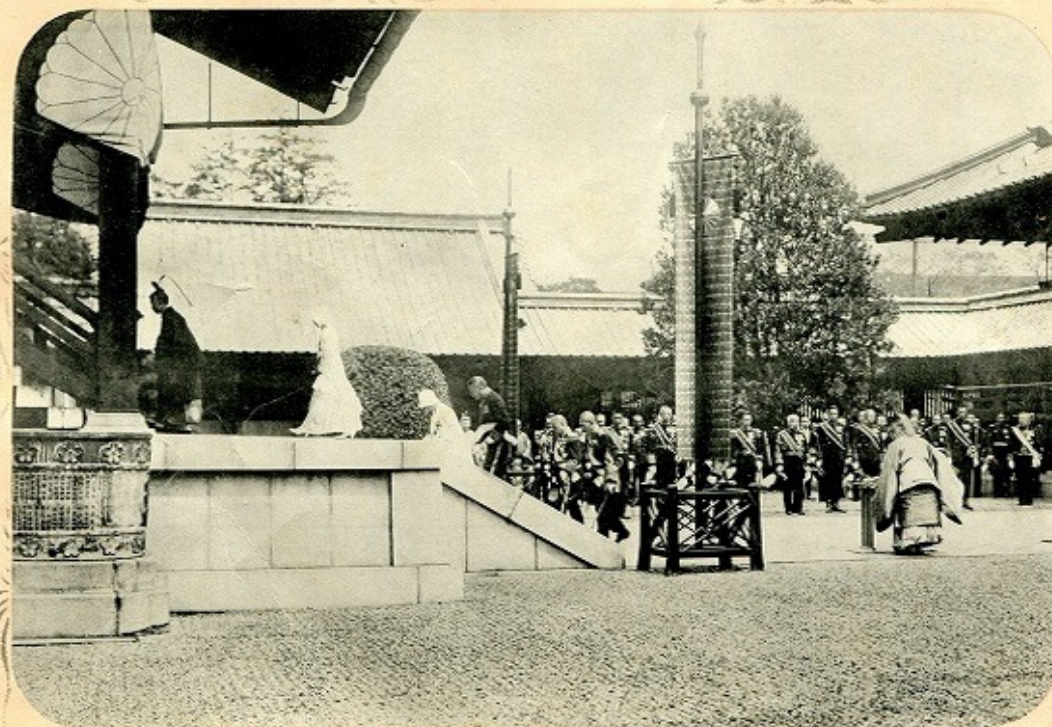
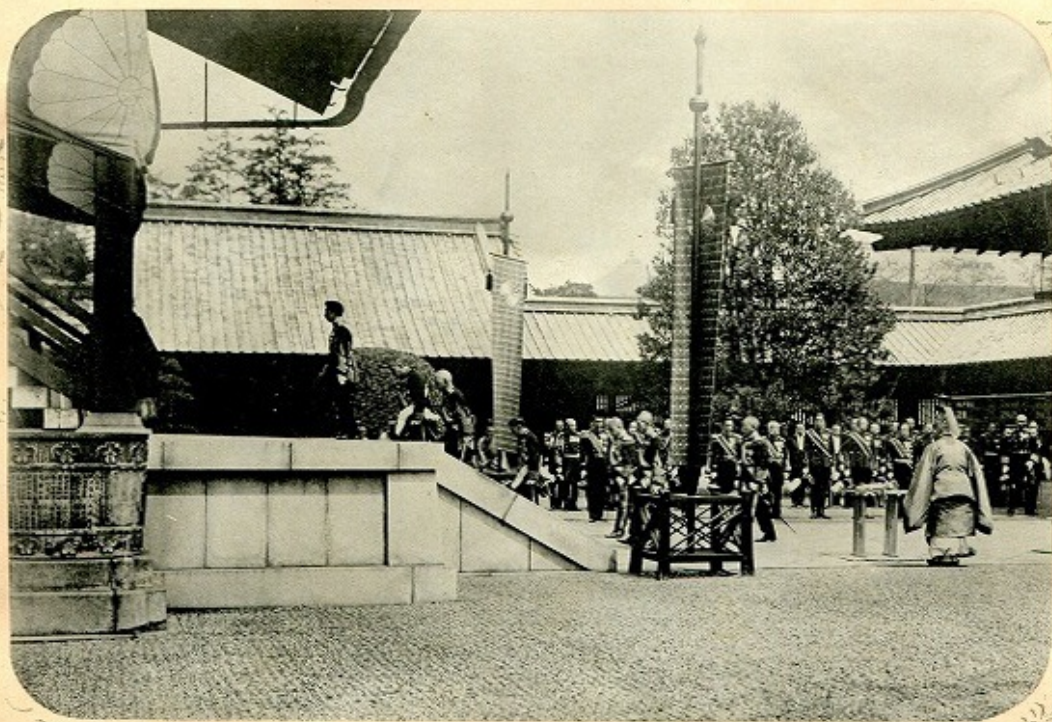




熱河省方面作戰ニ關東  
軍將兵氷雪ヲ冒シ險難  
ヲ踰エ長驅速ニ寡ヲ以テ衆  
ヲ破却シ克ク皇軍ノ威信ヲ  
中外ニ宣揚セリ朕深ク其忠  
烈ヲ嘉ク惟テ宇内ノ形勢ハ  
頃刻モ苟且ノ容ナス汝將兵  
益其力ヲ養ヒ朕ヒ信倚對  
シテ期セヨ

昭和八年四月十五日

慈仁御の室皇



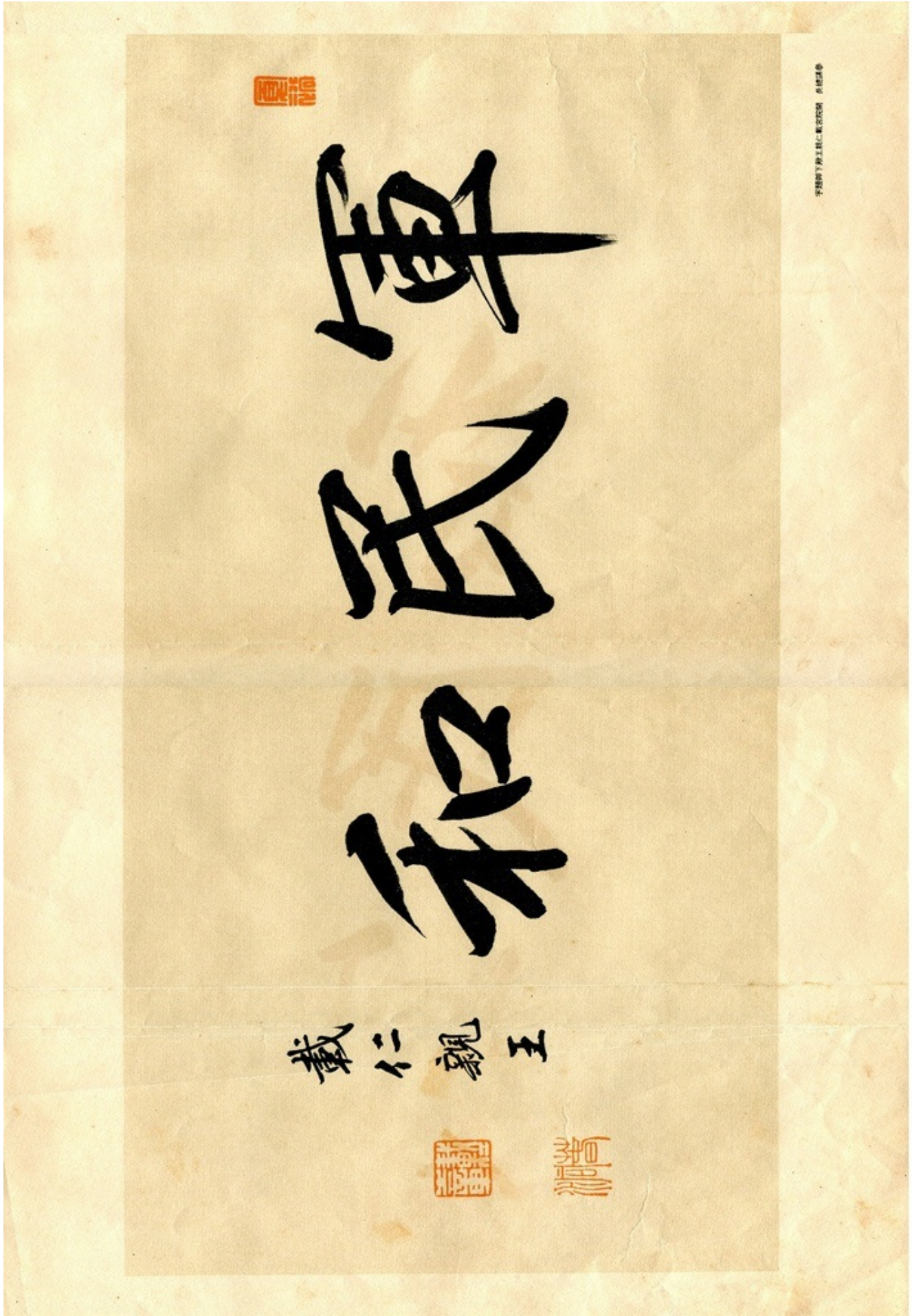
天皇后雨降陛下靖国神社合祀祭に御参り

傷病兵の慰問（皇后陛下、秩父宮殿下）

皇后陛下、秩父宮殿下

親しく傷病兵を御慰問あらせらる  
尚ほ宜に慰かせられては屢々御便を差遣はされ  
其状況を御覽せしめらる一御感泣に堪へず





字體附下殿王親仁載宮院閑 参謀総長



忠 國  
烈 義  
赫 昭  
々 々

貞丈謹題

國光宣揚

陸軍



参謀総長  
園宮仁載王殿下



参謀次長 植田謙吉



関東軍司令官、参謀長 肖像写真



関東軍司令官  
大 畑 劉

参謀長 小畑 田 大

• 関東軍司令部 •



前関東軍司令官  
武蔵 義信

報

國

武蔵 義信

# 遣差御官武從侍



侍從官御差遣 予對江陸軍九十二軍兵少隊兵少  
(自一九二一年七月號 陸軍部報 第一九七號)



侍從官御差遣



(自一九二一年七月號 陸軍部報 第一九七號) 侍從官御差遣 予對江陸軍九十二軍兵少隊兵少



侍從官御差遣 予對江陸軍九十二軍兵少隊兵少  
(自一九二一年七月號 陸軍部報 第一九七號)



侍從官御差遣 予對江陸軍九十二軍兵少隊兵少  
(自一九二一年七月號 陸軍部報 第一九七號)



侍從官御差遣 予對江陸軍九十二軍兵少隊兵少  
(自一九二一年七月號 陸軍部報 第一九七號)



侍從官御差遣

北大營ノ夜襲



リタレラへ加ニ遂ハ拳銃ノ義正

過去の事象



点地破爆線本鐵滿の溝條柳

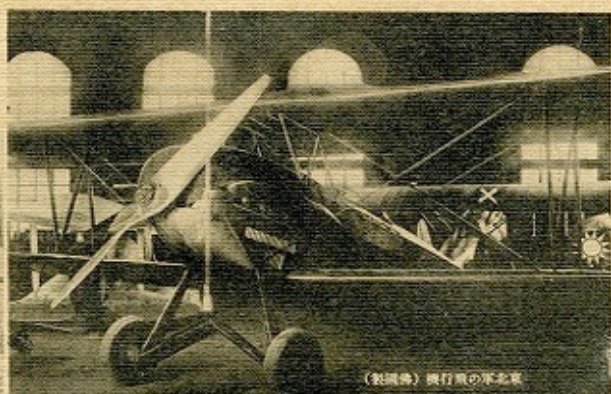


見よ彼等の軍備（東北軍の飛行機ほか）

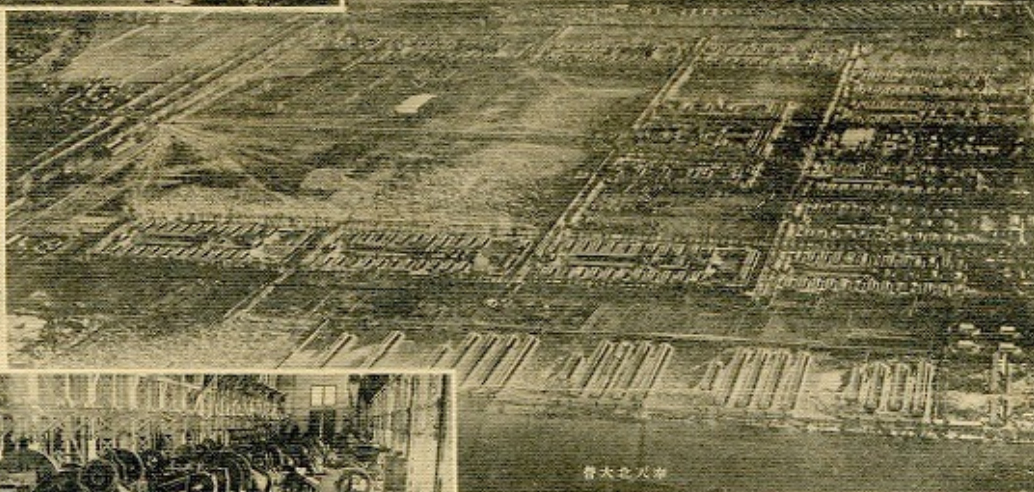
見よ彼等の軍備



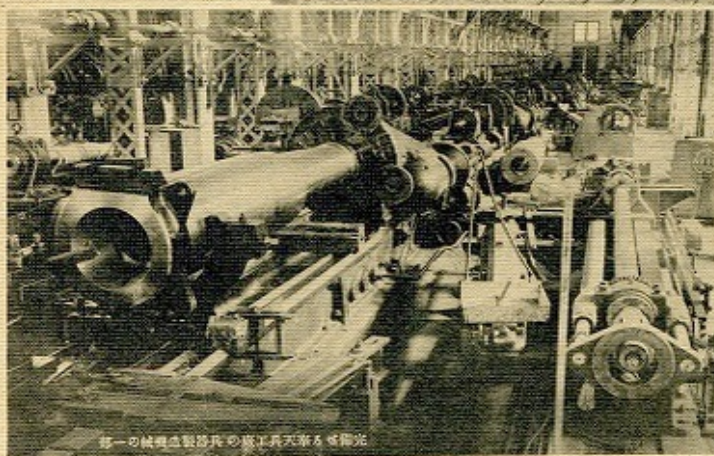
東北軍に於ける工場



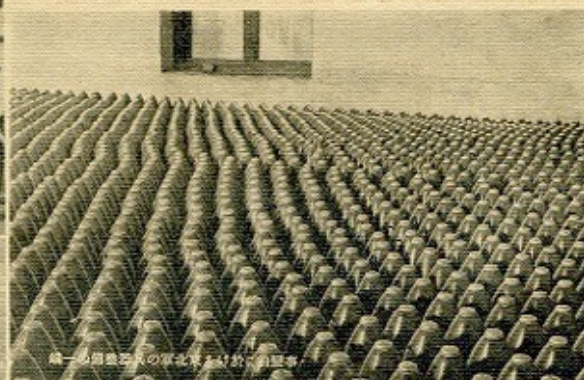
東北軍の飛行機（製造機）



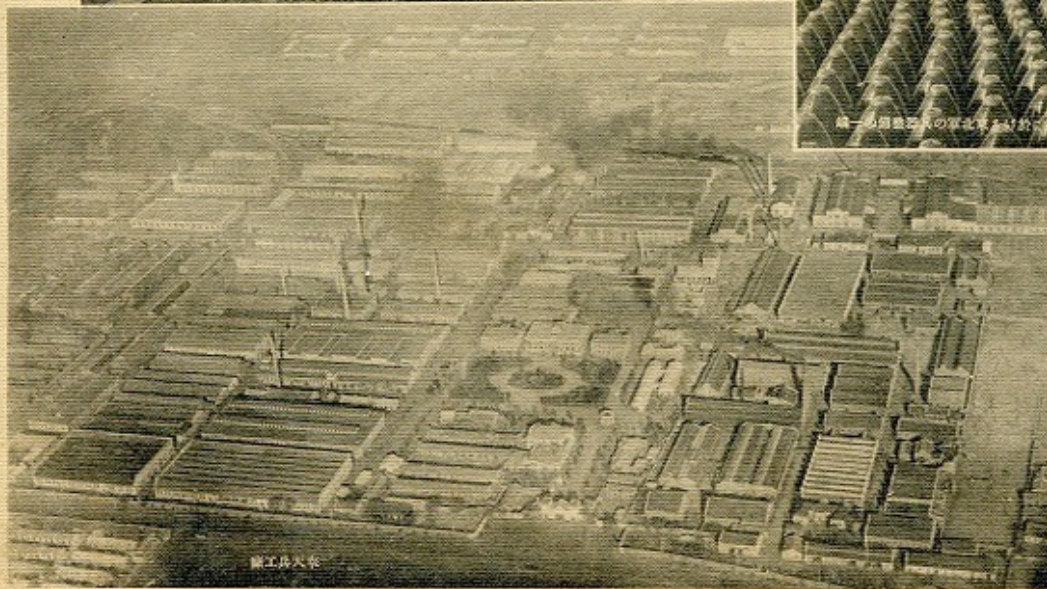
大連工場



大連工場第一機械製造部内の工場内を撮影



大連工場第一機械製造部の軍用兵器の貯蔵庫



大連工場





跡の戾暴るた然歴と日侮日排

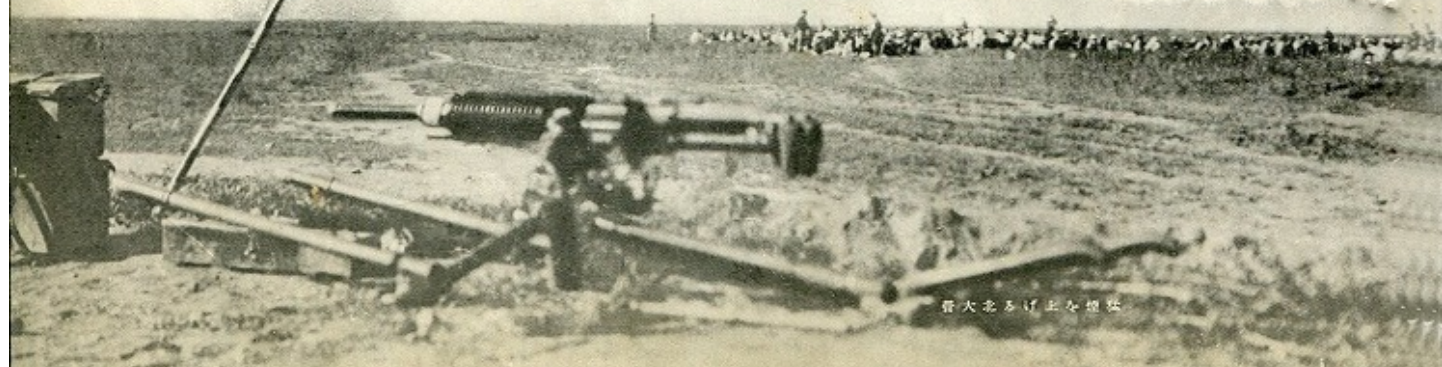


看哪？營垣西邊的鐵道



日本前之時深作...  
子材國承...  
...

我族訓  
我民受  
我危在  
我目在  
我前之  
我官士  
我兵夫  
我將等  
我理本  
我令遺  
我官及  
我長官  
我一切  
我助之  
我體之  
我共精  
我赴工  
我國神  
我難作  
...





各地の肅清



長官兵衛村井と副官村中をれまじり



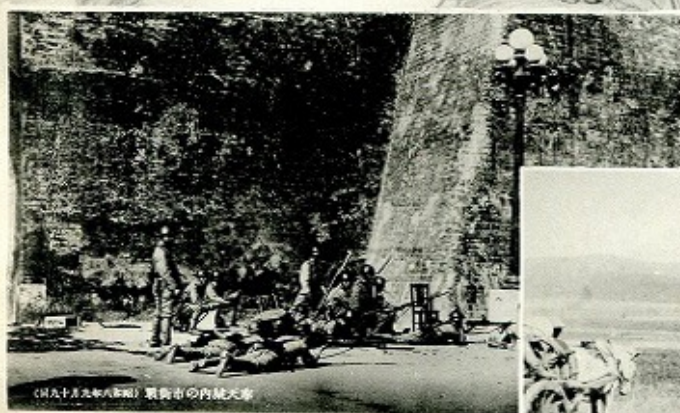
九中と捕呼隊の最高  
道徳勲章授与式(大正九年  
九月三日七時)



練兵隊の隊部兵少るを監視し、野獲の取調済み



陸上海上の官令河軍河白



(大正九年八月) 戦術市の内城大寺



田村の城東江花院  
(大正九年七月)



(大正九年九月) 解元陣の合兵演習をせ入る道場の軍兵



隊兵隊がわるす城人にルベシ  
(大正九年十月)



軍兵の頭脳科吉

第六師団



除團六兵砲野本向に雲密發出心田玉  
(日七十月五年八和瑞)



第六師団長  
坂本政右衛門

天  
佑

坂本政右衛門書



北満より熱河へ



陸軍三一步と会館の幹事山崎



陸軍第一歩兵少佐  
三 四 松



雲暮夕と江丹社館國教滿北



てに近河子登勾渡



歸機の探偵里三十三を北教



軍三一步を渡を河熱  
(日二十月五年八和)



部本隊の中途前野村岳



門南城化教



軍部砲台にて渡河熱河  
(日二十月三年八和)



部隊の隊進るけに渡河熱  
(日二十月三年八和)

軍旗を最先に



長門旅団十三師団長  
田島 大



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



大子隘路を越行  
(昭和二年八月二十二日)



望楼に撃砲に揺ぐ

望楼の砲撃に揺ぐ  
 砲撃に揺ぐ望楼の砲撃に揺ぐ



砲撃に揺ぐ望楼の砲撃に揺ぐ  
 (十一月十四日)



望楼の砲撃に揺ぐ  
 (十一月十四日)



望楼の砲撃に揺ぐ  
 (十一月十四日)



望楼の砲撃に揺ぐ  
 (十一月十四日)



望楼の砲撃に揺ぐ  
 (十一月十四日)



望楼の砲撃に揺ぐ  
 (十一月十四日)

白雪を蹴って



丁六地方の雪原の奥山道通  
院軍政改修の出入車道風景  
（丁六地方新聞）



第一七五号兵團 砲隊の團長部



丁六地方の雪原の奥山道通  
院軍政改修の出入車道風景  
（丁六地方新聞）



るけ於に河陰名河西本基岩河岸  
築作直業の隊中一隊隊大六第兵工  
（四十四期より五十八期三第兵工隊）



同戦の隊中入第遊野るけ於に御家子官派直

るて軍行ん全體編五排子隊二  
隊大二第の六第兵砲野



販買衣靴終るけ於に軍余  
（丁六地方新聞）



軍修修動隊隊軍取購るけ於に會市休

第八師団



古北口附近の万里の長城



第八師団長  
西 義 一

至  
深  
通  
天

昭和七年夏

於錦山 義一書

熱河平定



第八師團司令部



第八師團司令部



熱河平定街の風景



熱河平定の城入風景  
(長城は中央に)



熱河平定の城門



熱河平定を通過する軍隊



第八師團司令部の城入風景

関内第一歩



五師加配當官武長員部野第



式演練演習の行於に總本  
（日六十月九年八八八）



第一の地境地、一日名古  
（日八十月九年八八八）



の地境地、一日名古  
（日八十月九年八八八）



日八の山北各



日八の山北各の地境地  
（日八十月九年八八八）



本行軍行日名古  
（日八十月九年八八八）

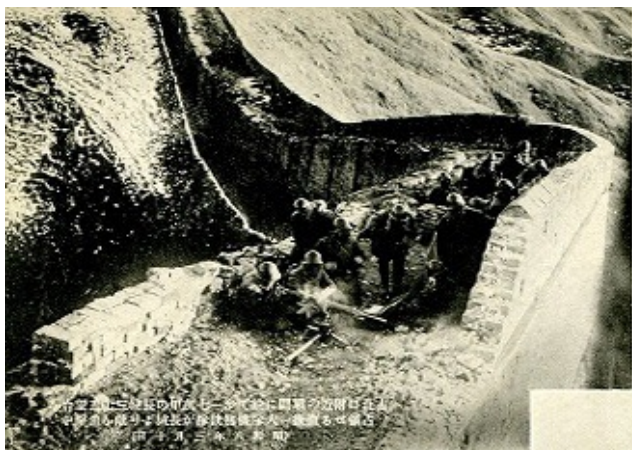


日八の山北各



第一歩関内を於に所合同開戦國風原川北北

# 軍旗長城に翻る



## 軍旗長城に翻る



蒙古小部地方東側東、七一歩て於に開戦の日北古  
(日二十月三年八和曆)



蒙古最高峰の隊大、七一歩て於に近附偵察中  
(日二十月五年八和曆)



支那内陸部の隊大、七一歩て於に近附偵察中  
(日二十月五年八和曆)



支那内陸部の隊大、七一歩て於に近附偵察中



支那内陸部の隊大、七一歩て於に近附偵察中  
標識の副大尉給官部隊大、七一歩て於に近附偵察の日北古



(日二十月五年八和曆) 支那内陸部の隊大、七一歩て於に近附偵察中

北平に近迫

敵軍の進軍の途程



司令部開設後四多るけ於に正夜



と長隊部西るけ於に開会  
見會のと使軍軍部支  
(日五十二月五和八初四)



るけ於に地高方北嶺氣野  
司令部開設後四多るけ  
(日五十二月五和八初四)



駐所中星の兵宿るけ於に開帳柔旗



長隊の兵等と宿るけ於に開帳門天南



駐所の兵宿るけ於に開帳柔旗



長隊部と行一長隊部新隊来るけ於に駐所



城 牌 莊 省 南



躍活の隊兵工



兵隊の門前  
後直の所前口北古  
(日二十八年八月四日)



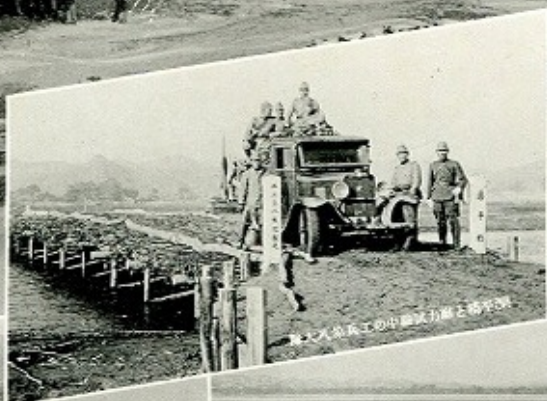
砲陣の前地陣敵前夜日一十月四年八和  
宗調の長隊大に除死入工する我田に撃破物



(日六十二月三年) 砲陣の工兵の地陣地撃て於に日七古



砲陣の前地陣敵前夜日一十月四年八和  
宗調の長隊大に除死入工する我田に撃破物



工兵隊の中隊隊力隊と砲陣



河を渡りて砲陣  
隊大入兵工の砲陣



除死入兵工の中隊隊力隊と砲陣  
(日二十八年八月四日)



(日二十八年八月四日) ては方西用砲陣我るす砲陣を撃てと砲陣

輜重の労苦



漢軍の角市東城雲宮



2.内江河熱重輜重隊入隊  
(日一十二月二年八五)



の重輜重隊入隊本軍に強攻  
軍行地山をけ於に近河口河奈  
(日十二月二年八五)



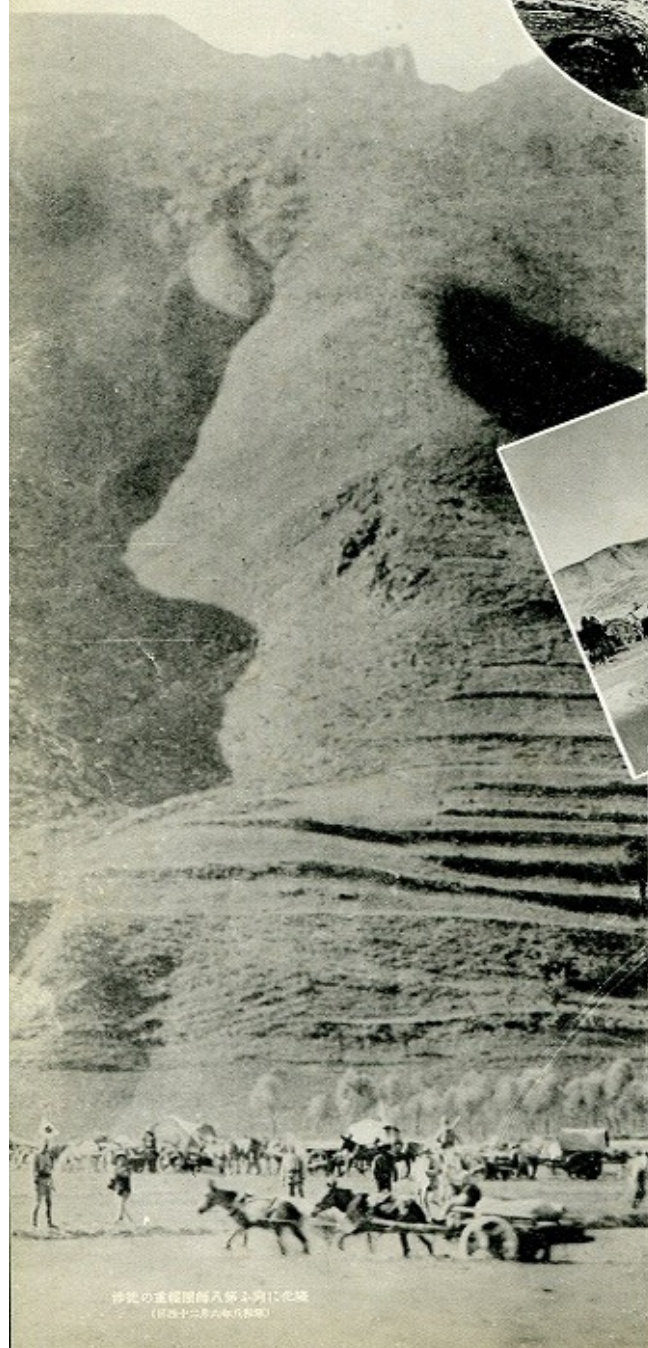
るけ於に近河口河奈重輜重隊入隊  
(日三月三年八五) 軍行の途中



るけ於に重輜重隊水  
筋活の面設立



隊重の路坂るけ於に方東越水重輜重隊入隊  
(日十月三年八五)



砂荒の重輜重隊入隊2内江に化城  
(日十二月二年八五)